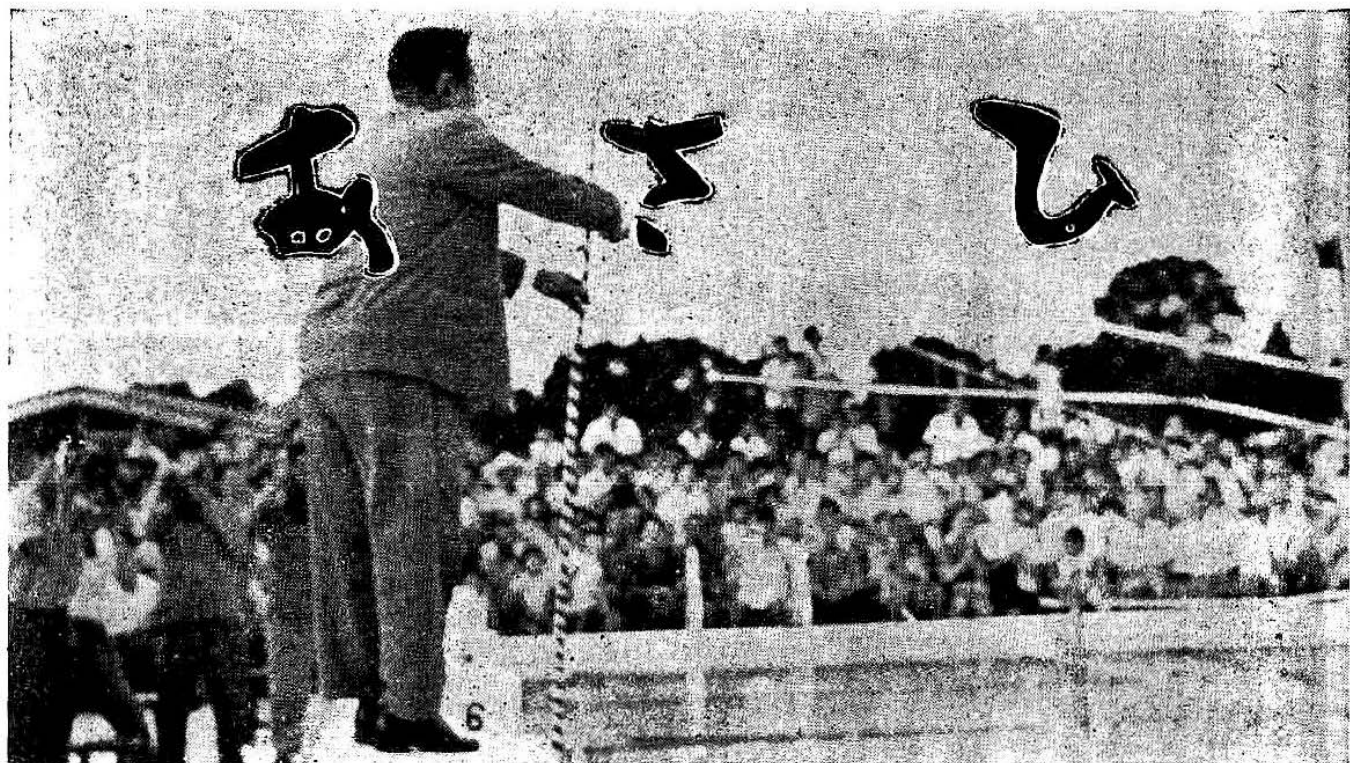


△プール開き▽



朝日町営プール完成

古橋広之進・長谷景治両氏招き

八月二十五日 はなやかにプール開き

施設の概要

(1) 長水路プール

長さ 五〇メートル
巾 二〇メートル
水深 スタートおよびターン側
一、一メートル
中央一、三メートル
容量 一、一七五トン
コース 九コース
巾二メートル
スタートの高さ
六五センチメートル
プールサイド

北側 四メートル
南側 八メートル
スタート側 七メートル

(2) 子どもプール
円形プール
直径 九メートル
水深 〇、三メートル
〇、八メートル
容量 八トン
変形プール(すべり台付)
直径 一二メートル
水深 〇、二メートル
〇、七メートル
容量 一六トン

(3) 管理棟
脱衣場、便所、物置、シャワー
洗眼所、手洗所、水存場を設置
(4) 浄化装置
次期工事として設置できるよう配
管工事は今回施行した。

(5) 総事業費
一、四六六万円

九月十五日現在で住民登録の 一斉調査が行われます

◎なぜ行うか

この実態調査は住民登録法に基づいて行われるもので、住民の居住関係を明確にすることにより、各種行政事務の適正で簡易な処理と町民の日常生活における利便を計ろうとするものです。

◎どんなところに使われるか

選挙権の取得、学校の入学通知や印鑑証明、予防接種などすべての役場事務は登録がないと除かれますしまた個人的にはバイク等の免許を受けるときや就職、土地の登記、福祉年金を受けるとき、そのほかいろいろなときに使われます。

◎調査の方法および提出期日

朝日町内に住所(生活の本拠)を有する町民のすべて(但し日本国籍を有する者)について世帯を単位と

家屋評価替に伴う 調査の実施について

新聞等ですでにご承知のことと思いますが、本年から来年にかけて家屋の評価替えを実施することになっています。

九月からさっそくとりかかる予定です。みなさんの家にも立入りしなければならぬので、よろしくご協力ください。

期日等については町内会長さんや有線放送等を通じてあらかじめお知らせいたします。
税務課

朝 監 第 24 号

監 査 結 果 の 公 表 に つ い て

昭和38年7月30日

朝日町監査委員 坂口良造 松原三郎

朝日町建設課 (1)

1. 監査月日

昭和38年7月19日

2. 事務の分掌

当課の事務分掌は土木事業、耕地事業、失業対策事業、建築基準法確認申請等の事務で土木事業事務では道路橋梁の維持修繕及び新設改良災害土木復旧工事、都市計画街路工事、治水関係(水路計画を含む)等、耕地事業事務では土地改良耕地災害復旧工事等、失業対策関係では道路愛護町道タール防塵工事、用排水路改良工事であり、これら事業の事務、渉外関係、工事の設計指導監督及びそのほか県営、国営の土木事業、海岸工事の渉外事務等を課長以下8名の職員で担当している。

この外失業対策事業用として小型ダンプカー1台を配し運転手(雇)1名、失業対策人夫は現在37名である。

3. 事務処理に関する意見

事務処理については、それぞれ事業区分、工事区分により、良好に処理されていると認める。

4. 予算の執行状況(昭和37年度)

当課所管の予算執行状況は次のとおりである。

昭和37年度建設課所管予算執行状況

(昭和38.5.31現在)

款 項	予算額	執行額	未執行額	執行率
4. 土木費	31,035,000	30,685,036	349,964	98.9
道路橋梁費	7,354,000	7,344,663	9,337	99.9
河川費	90,000	89,865	135	99.9
都市計画費	14,828,900	14,533,838	295,062	98.0
災害土木費	8,650,100	8,605,588	44,512	99.5
土木諸費	112,000	111,082	918	99.2
6. 社会及び労働施設費				
労働費	9,436,142	9,137,039	299,103	96.8
8. 産業経済費				
耕地事業費	4,527,811	4,526,395	1,416	99.9

5. 事務事業の執行状況

(1) 一般土木事業

ア 道路橋梁維持修繕

融雪後の路面整理、砂利入れ、路肩修繕、橋梁床版橋、暗渠等の修繕、その外豪雪対策で道路除雪計画除雪機械の借入れ配置を行う。

イ 道路橋梁新設改良

❖ 上舟川橋、永久橋に架替工事

工期 37.8.17 ~ 37.11.30

工費 2,570,000円

朝日町負担金 1,285,000円

❖ 県費補助町道改良工事(野中~小在池線)

工費 210,000円で37年度末に完成

❖ 泊第一保育園つなぎ道路工事

工費 349,000円 延長約 100m
有効巾員 4m

完工 38.6.20

❖ 道路舗装工事(国県道)

桜町、温泉町、病院前、平柳、柳田、清水町
宮本町、宮崎の8カ所を施行、総延長約1,500m

ウ 河川事業

37.7.13 県と共催で桜町地先、小川右岸において水防演習を実施する。

エ 都市計画街路工事

延長 36年度繰越分 72.67m } 1,113.57m
37年度分 1,040.90m }

工費 13,900,000円で契約工期は37.10.1~38.3.31までのところ五箇庄農協の移築等の関係で完成は若干遅れたが、これは止むを得なかったものと認める。

※ 七重谷川護岸災害復旧工事

工費 7,950,000円 延長 270m余
完成 38.3.31

(2) 農業土木事業

ア 土木改良事業

種 別	事業数	事業費	町負担額
積寒事業	2	7,720,000	1,185,000
県単	13	4,434,000	736,000
町単	10	785,000	314,000
計			

イ 耕地災害復旧工事

工 種	数量	工事費	町負担額
農地	(2)9.24ℓ	1,581,000	79,050
水路	(1)	220,000	22,000
計	3カ所	1,801,000	100,000

(3) 失業対策事業

ア (農)

工 種	延長	人 工
用水改修	954.9m	7,537.6人

イ (道)

工 種	面積	人 工
道路愛護	70,000.0m ²	1,324.0人
タール舗装	1,706.0	1,706.0人

以上、37年度中に執行した事務事業の重なるものである。

6. 総合的意見

当課における事業の施行に当っては用地交渉、物件補償等の苦勞が多いにもかかわらず、計画どおり完成したことは喜ばしいことである。

それで用地の買収価格は、普通の場合坪 700円と定められているが、これは個人間の買売価格よりはるかに低廉であるため用地交渉に屢々支障をきたし、事業施行の遅延ともなるから土地価格の引上げを要すると思われる。都市計画街路工事については地元の絶大なる協力、業者の良心的な施工、職員の献身的な努力により、所期の目的を達成したことは喜ばしいことである。

次に失対事業用のコンクリート用パネル、工具の取締について万善を期しておられると思うが、私有物との混同を避けるため、焼印(場印)を押すことが望ましい。

小学校の

統合について

朝日町教育委員会

朝日町の人口は年々減っており、将来も下降線を辿る憂いがあります。

見て見ぬふりをしたいような現実、特に出生児数の動向に一抹のもののさびしさが示されている。

けれども、もう小学校の統合問題について目をふさいでいるわけにはゆかなくなっています。

しかし簡単に統合といっても、実際に実行するのは大変なことです。あの町村合併運動の盛んなころを思いみますと、複雑多岐を極めた苦悩の数々が思い出されます。また泊中学校と境中学校の統合の議が成立するまでの経緯においても幾多の起伏のあったことはお互いの記憶に新しいところではあります。

農協の合併、農業共済の統合の必要が叫ばれ、その利点がわかっていながら未だにその道の遠きを感じさせられていたことから見て、軽々しく統合に手を染め得るものでないことがわかる。

統合には月日をかけて、その機熟すのを待つことが大事である。未熟のうちに手がけると無用な政治運動のようなものが惹起され、その抵抗の激しい期間が長びくこととなる。甘柿でも熟さぬうちは渋い。しかし渋柿でも適期に適切な処置をすれば甘くなることをあわせて考えねばならない。

学校の統合も形のうえでは二校が一校に、三校が一校にときわめて簡単な姿です。しかし一十一、一十二という算式を成立させるのだから、復

雑さははらむことになるのでしよう。これは人間関係の化学的変化のような現象を起こすからでしょう。

化学的变化には薬品の性質によって、または薬品調合の順序を間違えると、激しい泡や高い熱が出たり、時には爆発をさえ起こすことがあります。

しかし、どうしても統合しなければならぬ事態に迫りこまれていようとすればどうすればよいのでしょうか。熱柿になつていゝるのにそのままにしておくと、余りにも情けないことではないのでしょうか。鳥につつかれるか、自らの重さにたえかねて地べたへ落ちて四散するむくいさをさらすことは智慧ある沙汰とは云いかねることかと思われまします。

よい子の将来のために小異や私情を捨てて統合に努力すべきでしょう。学校教育の効果を損ねるために、進んでより以上教育効果を増大するために統合にふみ切るべきでしょう。

そこで、現状から将来にかけての学校教育の推移を理解していただくために、その資料を掲げることになりました。特に複式学級のできる地区の方々に対し、統合に関する研究とご理解を強くお願いするものです。各学年の児童が少数になったために一つの教室に二学年分または三学年分の児童が雑居するような姿の複式学級は万止むを得ない形であることよくご理解くださいまして、統合への心がまえをおつくりくだされば幸いです。

まず各小学校の児童数の現状と各年度の出生児をもとにした推定児童数を表示いたします。

一、各小学校年度別推定児童数 (自昭和三十八年度至四三年度)

五箇庄小学校		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
	38年	31	25	64	41	38	55	254
	39年	47	31	25	64	41	38	246
	40年	30	47	31	25	64	41	238
	41年	23	30	47	31	25	64	220
	42年	35	23	30	47	31	25	191
	43年	22	35	23	30	47	31	188
南保小学校		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
	38年	23	23	27	32	43	56	204
	39年	27	23	23	27	49	43	192
	40年	25	27	23	23	37	49	184
	41年	20	25	27	23	34	37	166
	42年	19	20	25	27	31	34	156
	43年	19	19	20	25	35	31	149
蛭谷分校	38年	14	18	16	17			65
	39年	18	14	18	16			66
	40年	17	18	14	18			67
	41年	11	17	18	14			60
	42年	7	11	17	18			53
	43年	9	7	11	17			44
	大平分校		1年	2年	3年	4年	5年	6年
38年		12	2	3	7			24
39年		3	12	2	3			20
40年		6	3	12	2			23
41年		7	6	3	12			28
42年		5	7	6	3			21
43年		3	5	7	6			21
宮崎小学校		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
	38年	10	18	18	30	24	22	122
	39年	12	10	18	18	30	24	112
	40年	12	12	10	18	18	30	100
	41年	8	12	12	10	18	18	78
	42年	6	8	12	12	10	18	66
	43年	16	6	8	12	12	10	64
大家庄小学校		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
	38年	51	56	60	64	75	63	369
	39年	44	51	56	60	64	75	350
	40年	55	44	51	56	60	64	330
	41年	51	55	44	51	56	60	317
	42年	66	51	55	44	51	56	323
	43年	27	66	51	55	44	51	294
山崎小学校		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
	38年	20	29	43	46	60	59	257
	39年	32	20	29	43	46	60	230
	40年	28	32	20	29	49	46	204
	41年	20	28	32	20	34	49	185
	42年	27	20	28	32	26	36	169
	43年	30	27	20	28	40	26	171
泊小学校		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
	38年	118	131	124	111	122	121	727
	39年	103	118	131	124	111	122	709
	40年	127	103	118	131	124	111	714
	41年	111	127	103	118	131	124	714
	42年	108	111	127	103	118	131	698
	43年	105	108	111	127	103	118	672
境小学校		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
	38年	13	21	21	19	37	30	149
	39年	14	13	21	21	26	37	132
	40年	10	14	13	13	24	26	108
	41年	13	10	14	14	23	24	98
	42年	14	13	10	14	25	23	99
	43年	15	14	13	10	17	25	94

(参考)
中学校生徒数推定
(昭和三十八年、四五年)

	38年	39年	40年	41年	42年	43年	44年	45年
泊中学校	1年 348	272	258	238	269	226	204	207
	2年 352	348	272	258	238	269	226	204
	3年 385	352	348	272	258	238	269	226
	計 1085	972	878	768	765	733	699	637
小川中学校	38年 152	39年 138	40年 153	41年 130	42年 123	43年 110	44年 92	45年 98
	1年 174	158	138	153	130	123	110	92
	2年 214	174	152	138	153	130	123	110
	3年 540	464	443	421	403	363	325	300

つぎに文部省刊行の小中学校統合の手引を基本にして、小中学校統合の基本方針および統合の基準を記すことにいたします。

二、小中学校統合の基礎条件

(1) 教育的効果の向上と学校経営の合理化を図ることが第一義で経費節減は第二義的

経費の効率をあげることももちろん大切であるが、まず教育効果をあげることに優先することを忘れてはならない。角をたためて牛を殺すような愚をやってはいけない。通学距離も過労等の心配もなく、適正であれば、小規模でも一学年一学級以上を保ってゆける見とおしさえあれば、あわてて統合を急ぐことはない。

(2)

目前の現実にとらわれないで、将来を見とおして慎重に計画的に行うべきである。

町の都市計画即ち将来の発展を見とおしての産業構造、工場建設、道路交通、住宅の造成等の変化と計画の長期にして大局的見地からの慎重な計画と用意が先決である

(イ) 産業構造の将来を考へること
都市と農村との経済格差は正として農業構造改善の大問題が取りあげられ、全国各地にモデル地区がつくられつつある。即ち農村の近代化が農村の省力となり、その労働力が他産業に移注されることが強く期待される。その労働力が手近に吸収されるためには、町としての工場誘致建設という重要な裏づけを要することとなる。

幸いにして全国十三カ所しか認められなかった新産都市に富山高岡地帯も指定され、富山県産業構造の一大変革の時にあたっている。

当町もその余慶に浴する努力は全町あげてなさねばならぬ機であろう。これが当町将来の産業図の色のわけの大きな力となり、人口変動にも作用し、学校統合の一基本條件ともなるのであります。

(ロ) 道路の基本計画確立後の町の姿勢を十分に考へなければならぬ。

道路は国や県、町の発展の動脈的役割をもつことは云うまでもないこと。本町の道路もすでに大きくかわりつつある。即ち新国道八号線と町の基本線である立体交差線であり、町の環状幹線の一部が着々と完成に近づきつつある。

これらの道路が完成し、さらに高速道路の実現を見たときに、町の交通網が見違えるような変ほうを呈することと思われれます。

これらの道路によって、各地区の中心が変化をおこし、地区の結びつきにも変化がおこることが予想される。学区の決定には道路交通も重要な条件となるのであります

(ハ) 住宅の造成区域の想定をしなればならぬ

工場の建設、道路網の完成を予見して、住宅造成の適地を想定することになるかと思う。

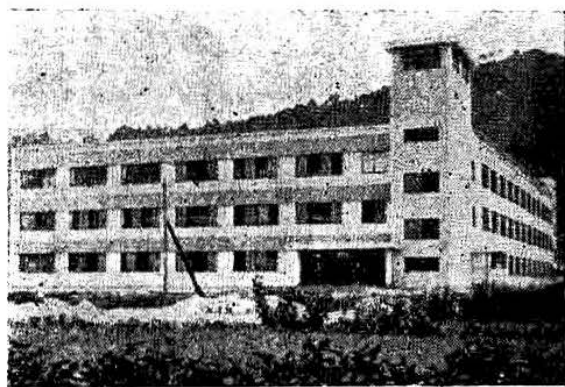
住宅を求める住民の将来かけての福祉を熟慮して設定することも統合の基本条件の一つとなる。

(次号につづく)

泊中学校々舎の近況

統合泊中学校の第二期工事は、去る六月二十四日にてたく完工式を終えました。

今度できたのは普通教室七、保健室一、図書室並に書庫各一、生徒会室



一、放送室一、補導室二、職員室、教材室、印刷室、職員ロッカー各一
校長室兼応接室一、会議室一、宿直室、用務員室各一となっておりますが

普通教室が不足のうえに、少くとも理科室と音楽室だけは独立の室が必要というところで、取りあえず、保健室職員室、会議室、図書室、書庫の五室を教室に転用しています。

このため室という室は全部人で埋まっております、また一階校長室、二階職員ロッカー室、三階生徒会室と分散せざるを得なく互いに不便をかこっている現状ですが、第三期工事もすでに着工しており、このうちは、工事が一日も早く完成して、校舎が計画どおり本来の姿で使用され、機能を発揮できる日が待たれます。

朝日町国民健康保険では、毎年保険加入者の減少に反比例して医療費が増大しますので、保険指導の一環として成人病対策をとりあげ、各地区に巡回会場を設け、血圧測定を行って皆さま方個々のからだについて医師の指導を行っておりますが、ここに年令別正常血圧および高血圧治療食物を参考に供します。

国保だより

△血圧の高い方の食べは いけないもの

(イ) 唐辛子 (ロ) カレー粉
(ハ) 胡椒 (ニ) 酒 (ホ) 肉スー
プ (ヘ) ラムネ サイダー
(ト) 茶 (チ) コーヒー、ココア

△血圧の高い方の食べる量をひかえめにするもの

(イ) 肉類 魚介類 卵類
(ロ) バター マーガリン
ラード 油類 ゴマ

(ニ) 甘諸 ごぼう
(三) その他塩分の多いもの

なお療養の給付については、従来は健康保険役場が五割皆さまが五割負担でありましたが、十月一日より世帯主のみ国民健康保険役場で七割を給付することになり、世帯主の方は三割の負担となります。

年令別平均体重(Kg)

年令	男	女
26才-29才	55.68	49.24
30 - 39	55.78	48.90
40 - 49	55.34	48.86
50 - 59	54.48	47.28
60 - 69	51.98	45.16
70才以上	49.58	42.06

年令別	男		女	
	最高	最低	最高	最低
20才-24才	118.4	70.7	112.8	67.6
25 - 29	118.7	72.8	113.9	69.0
30 - 34	119.7	73.3	115.2	70.3
35 - 39	122.5	75.8	118.4	73.3
40 - 44	126.3	78.7	123.0	76.0
45 - 49	130.8	81.4	129.1	79.3
50 - 54	137.4	85.2	135.0	82.5
55 - 59	142.3	87.1	142.8	85.5
60 - 64	148.2	88.4	150.7	88.6

年令別正常血圧

編集兼発行 朝日町役場
印刷所 越前印刷
送料 六円
定価 六円